

# 新中学校開校準備委員会だより No.19

令和6年10月

伊豆中学校開校準備委員会事務局（伊豆市教育部学校教育課内）

## 学校のあり方を探る～グランドデザイン案について意見交換～

今年度3回目となる準備委員会が、9月18日（水）に中伊豆支所で開催されました。延べ20回に渡り様々な協議を重ねてきましたが、今回はいよいよ学校のあり方に関わるグランドデザイン案について意見交換を行いました。

ちょうど1年前、市内の先生方が伊豆中学校へ寄せる思いや伊豆市の教育計画をもとに、現在のグランドデザイン案を事務局が作成し、開校準備委員会でも紹介しました。その後、有識者をはじめ、様々な立場の方々から意見をいただいておりますが、最終答申を前にして準備委員会としての意見をまとめるために再度協議をしていただいたところです。

今回の準備委員会では、次のような意見が出ていました。

- ① 誰が見ても学校の特色が一目で分かるものにしたい。
- ② 学区の広域化に伴い、仲間づくりの要素や地域の素材・人材の活用についてもふれておきたい。
- ③ 国際的な視点や多様性を認めること、協力し合って物事を進めていくことなどを加えたい。  
（社会のニーズに対応）
- ④ 方向性は示すものの開校後も柔軟に修正を加えていくことが可能なものにしたい。



3つの部会に分かれてグランドデザイン案について意見交換をする委員の皆さん

【メモ】グランドデザインとは、学校が目指す姿を示したもので、特色となる教育活動などを含め1枚の図に表しています。

一般的に学校教育目標や指導の重点、評価指標、校長の学校経営方針などが盛り込まれますが、形式等は各学校の工夫に任されています。

## ワーキンググループの活動から

学校の先生方を中心とした準備委員会の下部組織にワーキンググループ（WG）があります。基本的には3中学校の先生方で協議を行っていますが、教育課程WGと研修WGは、伊豆市全体の教育活動にも関わるため、土肥小中一貫校も入っています。

各WGの進捗状況は、3中学校と土肥小中一貫校の校長先生方で行う開校推進委員会（中学等校長会）で定期的に確認され、準備委員会でも報告を行っています。年度内に決定し準備を進めておくべき内容と開校までに方向性が決まっていればよい内容とを整理して進めています。

### 現在活動中のワーキンググループ

| 名称        | 検討内容     | 構成員     | 名称     | 検討内容    | 構成員       |
|-----------|----------|---------|--------|---------|-----------|
| ①保護者・地域連携 | PTA関係/閉校 | 教頭先生    | ⑤庶務・財務 | 会計/予算等  | 事務室       |
| ②教育課程     | 日課/年間計画  | 教務主任の先生 | ⑥研修    | 研修計画    | 研修主任の先生   |
| ③生徒指導     | 生活ルール等   | 生徒指導の先生 | ⑦総合    | 総合学習の計画 | 総合学習担当の先生 |
| ④学校保健     | 保健室/健康診断 | 保健室の先生  | ⑧特活    | 生徒会/行事  |           |

今回は研修WGの様子を取り上げてみました。（裏面へ）

## 活動内容紹介

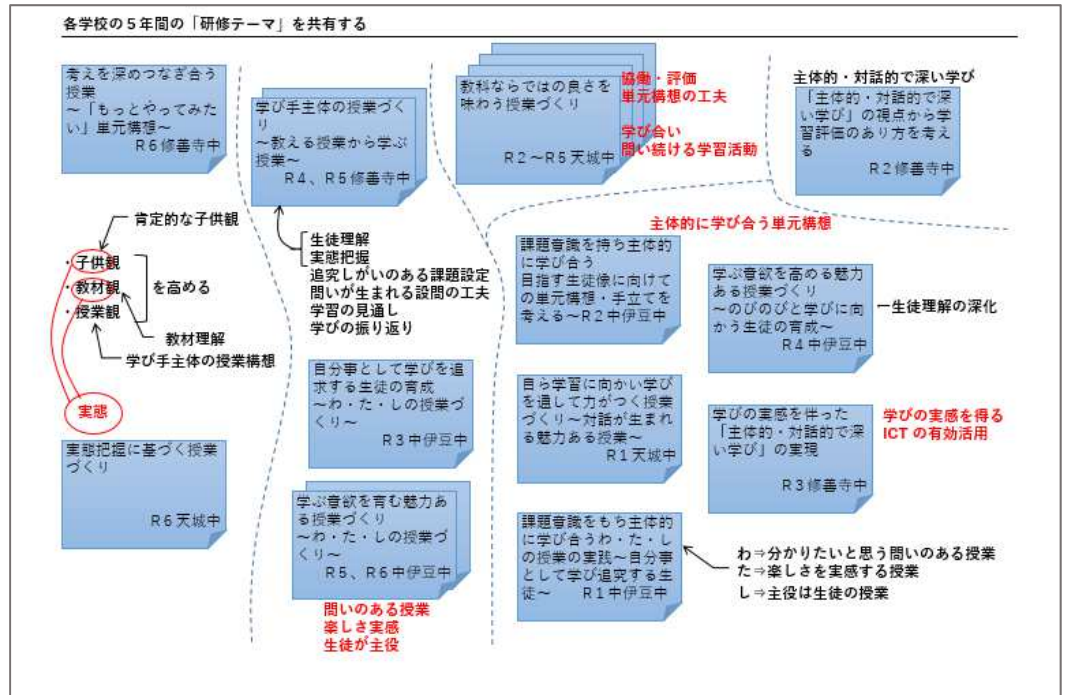
# 「子供が学ぶ授業」を目指して ～研修ワーキンググループから～

研修ワーキンググループ (WG) では伊豆中学校の校内研修について話し合っています。10月8日には、4回目となる研修WGを開催しました。

学校では様々な教育活動が行われていますが、何をおいても子供たちが日々の授業を楽しんでいることがとても重要です。今回は、過去5年間の各中学校の研修テーマを付箋 (ふせん) に書き出し、これまでの成果や課題を明らかにすることで、授業改善につながる手立てを明らかにしていきます。(下図)

伊豆市では、生涯にわたって主体的に学んでいこうとする子供の育成を目指しています。こうした先生方の研究により、子供が「教わる」授業から主体的に「学ぶ」授業に変わることによって、学びに向かう力を高めていくことが大切だと考えています。

ICT 機器の活用も「子供が学ぶ授業」へ向かうための具体的な取り組みの一つです。



## トピック

### 【実証事業】いずローカルクラブが始動

部活動のあり方については、伊豆中学校と土肥小中一貫校のいずれの生徒にも多様な選択肢を確保できるようにするために、合同部活動を導入することや教員に代わって専門的な指導を行える部活動指導員の任用を始めています。

また、部活動以外の第2の受け皿として、習い事やクラブチーム等、部活動以外の活動の場も積極的に推奨することとしています。今年度、第3の受け皿として実証実験を始めているのが「いずローカルクラブ」です。

いずローカルクラブは、社会教育課が事業として立ち上げたもので、中伊豆中学校をモデル校として9月から始まりました。部活動にはない活動で生徒の希望が多かったものから、スポーツ系ではネット型スポーツ、文化系ではパソコンを使った活動が行われています。指導者はスポーツ・文化ともに専門的な知識や技能を有する方々にお願いしています。当初は参加者が少なかったようですが、口コミで少しずつ参加者が増えているそうです。

伊豆中学校が開校しても、このように放課後の時間を有効に使いながら、生徒が多様な活動に親しめる機会を整える必要があります。



スポーツ系の活動：ウォーミングアップで頭と体を使ったゲームに挑戦する生徒



文科系の活動：生成AIを使って物語の作成に取り組む生徒